

第252回研究科委員会・第362回教員会議 議事要録

日 時：令和5年12月6日（水） 研究科委員会13：30～14：00／
教員会議14：00～18：20

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和6年度大学院入試（第Ⅱ期募集）合否判定について

回収資料に基づき説明があった。前期課程は若干名の募集に対して理工学専攻3名、環境放射能学専攻4名の応募があった。いずれも合格要件を満たしており、7名全員を合格としたい。後期課程は若干名の募集に対して理工学専攻1名、環境放射能学専攻1名の応募があった。いずれも合格要件を満たしており、2名を合格としたい、との提案があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

(2) 令和6年度共生システム理工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

第Ⅱ期追加募集の実施について

資料1-1、1-2、1-3に基づき説明があった。前期課程の環境放射能学専攻及び後期課程（両専攻）が定員を満たしていないので、2月19日に前期及び後期課程の試験を実施したいとの提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和5年度3月修了修士論文審査委員について

資料2に基づき説明があった。それぞれの審査委員について間違い等がないか指導教員は確認してほしい、その上で、この内容で進めたいとの提案があった。1名の学生に学外副査が入っていることが紹介された。質問はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 博士論文予備審査結果報告について

資料3に基づき2件の報告があった。教務委員会としては、いずれも本審査に進むことが妥当と判断した。

(2) 令和6年1月～4月の行事予定について

資料4に基づき、令和6年1～4月の理工学類に関する教務日程の報告があった。

(3) 第101回全学教務協議会について

(審議事項)

・令和6年度授業日程（案）について

資料5に基づき、令和6年度の授業日程案の報告があった。この日程で確定となる。5月8日（第二水曜日）がみなし月曜日となっているが、教務日程が決まった後に各種会議が組まれるため、ここに教員会議等が入ることはないことを確認した。

[その他]

1. その他

(1) 令和6年度大学入学共通テスト実施に伴う学生の入構禁止措置及び学内施設の利用制限等について

既に教員向け掲示板に載っているが、共通テストは1月13、14日に実施されるが、この期間と前日（12日）は構内立ち入り禁止となっているので気を付けてほしいとのアナウンスがあった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 副学長候補適任者の選出について

最初に学類長から説明があった。理工学類からの推薦人数は3名で、12月15日までに学長室へ報告することになっている。投票の結果、上位3名を理工学類から推薦することが承認された。

(2) 教員の任用について

1) 選考日程並びに教員選考委員会の提案について

最初に学類長から、この人事は水素研所長についての案件であるとの説明があった。さらに、水素研設置に向けたこれまでの学内での取組み状況について、特に11月21日の教育研究院会議において水素研所長は招聘人事とすること、理工の教授採用人事として進めることが承認された、との説明があった。学内手続きとしては、教員の採用は招聘人事であっても選考によることになっているので、理工学類として所長候補者を選考する必要がある。これら一連の説明後、さらにプロジェクター投影にて、選考委員会は学類執行部3名が担うこととしたとの説明があった。その後質疑応答があり、資格調査委員会の設置に進むことが承認された。

2) 教員資格調査委員会の設置について

最初に概算要求検討チームメンバー等の紹介があった。資格調査委員会を設置するにあたり、当該分野は物質・エネルギー分野とすることが確認された。投票の結果、当該分野から2名、当該以外の分野から2名が選出され、さらに関連する学系（自然科学・情報学系）から1名が選出された。

3) 教員資格調査委員会からの調査結果の報告について

最初に「情報理工学分野」について、担当教授から回収資料に基づき調査結果の報告があり、質疑応答の後、投票に進むことが承認された。

続いて「物理・メカトロニクス分野」について担当教授から回収資料の基づき報告があり、質疑応答の後、投票に進むことが承認された。

4) 採用候補者の決定について

「情報理工学分野」について投票の結果、提案のあった5名の採用が承認された。

「物理・メカトロニクス分野」について投票の結果、提案のあった1名の採用が承認された。

(3) 教員の昇任について

1) 教員の昇任について

冒頭、学類長から昨年度からの昇任人事に関する動向について説明があった。その中で、昨年度の教育研究院会議での学長コメント、学類長の発言について紹介があった。また、今年度の理工学類人事委員会での確認内容について紹介があった。人事委員会としては、昇任申請シートの記載内容を含めて、申請基準を満たしている希望者全員の申請書を教育研究院に提出することを確認した。その後、本年10月に理工学類の人事計画を教育研究院に提出した。教授昇任の数及び該当者は、最終的に12月5日に了承された。12月5日に理工学類人事委員会を開催して今後の手続き等を確認した。以上の説明に対し、質問等は出なかった。教育研究院から提案された候補者は3名候補者の退室後に具体的な質疑応答を行った。の質疑応答のあと、資格調査委員会設置の投票に移ることが承認された。

2) 教員資格調査委員会の設置について

資格調査委員会の設置について投票が行われ、昇任候補者に対しそれぞれ5名の委員が選出された。

(4) 特任教員について

学類長より、教育研究院会議において、来年度の特任Aとして4名が認められたとの報告があり、近いうちに分野長を含む拡大人事委員会を開催し、今後の人事計画を12月中に取りまとめることが承認された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和6年度学校推薦型選抜合否判定について

回収資料に基づき説明があった。募集人数は23名、志願者・受験者は31名であった。序列間で合計点に差がある24名を合格としたい。過去にも定員超過の合格者を出した年もあり、また今年度は総合型選抜入試で定員より1名少なく合格を出している点等を考慮して、この提案となっているとの補足があった。質問等はなく、提案通り承認された。内訳は男子13名、女子11名である。

3. 教務委員会

(1) 令和5年度非常勤講師計画について

資料6に記載の通り、3件の取り下げと日程等の確定について提案された。質問はなく、提案通り承認された。

(2) 令和5年度学修案内（共生システム理工学類）の修正について

資料7に基づき説明があった。食農学類の教職関連科目の科目名等変更に伴う2科目の修正である。土壤生態学を環境モデル学に、水資源利用学を環境水利学に修正する。また、環境水利学の履修年次が2年次（4セメ）から3年次（6セメ）となる。以上の変更が提案され、提案通り承認された。

(3) 基幹教員制度適用に伴う「主要授業科目」の設定について

資料8-1及び8-2に基づき説明があった。学類再編に係る設置審査書類提出に際して基幹教員制度が適用となるため、これまでの専任教員から基幹教員に変更となる。それに伴って主要授業科目を新たに設定する必要がある。教務委員会としては履修基準表の必修科目、選択必修科目のうち星印を付している科目、コース実践科目、卒業研究を主要授業科目とすることを提案する。別途、個別の科目については分野長と調整したい。評議員から、設置審査対応で資料8-2の内容を検討している。検討チームの中で、12月15日を目途に検討しているが、教務委員会のスケジュール感を教えてほしいとの質問があった。委員長から、教務協議会において12月15日締め切りで理工の方針を聞かれている。1月中旬に文科省と相談する予定らしい、との回答があった。他に質問等はなく、提案通り承認された。

4. 将来構想検討委員会

(1) 共生システム理工学類の将来構想と教員配置について

資料9に基づき説明があった。こその後、プロジェクター投影により学類再編後（令和7年度）の教員配置について具体的な説明があった。これは第一次案であり、今後変更の可能性はあるが、さしあたりこの案をもとに設置審査資料の作成を進めたい、との発言があった。質問等はなく、提案通り承認された。

5. 学類基礎科目検討チーム

(1) 学類基礎科目検討チームの検討結果

資料10に基づき、前回の教員会議で出された意見等を検討チームで再検討し、それらを踏まえた最終案が説明された。質疑応答を踏まえ、基本的な方針について承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和5年度昇級区分該当者について

プロジェクター投影により、特定職員（昇給区分A3名、昇給区分B8名）及び一般職員（昇給区分A：該当なし、昇給区分B3名）を該当者として推薦したことが報告された。

(2) 副学長候補適任者等の選挙日程について

資料11に基づき、今後の選挙日程について説明があった。具体的には、副学長候補適任者選挙が12月6日、評議員選挙が1月10日、人事委員選挙が2月14日である。

(3) 保護者との懇談会実施報告について

資料12のアンケート結果に基づき説明があった。当日は午前中の全体会への参加が40名以上あり、午後に個別懇談を9組行った。

(4) 福島大学わくわくJr.カレッジ「サイエンス屋台村」実施報告について

資料13に基づき説明があった。8月12日、4年ぶりに対面で実施したことが報告された。また、アンケート結果についても説明があった。

2. 教務委員会

(1) 令和5年度卒業論文の提出について

資料14に基づき説明があった。例年通り、1月25日～31日が提出期間となっている。

(2) 卒業時アンケートの実施について

資料15に基づき説明があった。例年通り、卒論と一緒に提出する形で実施する。

(3) 第101回全学教務協議会について

(報告事項)

- ・Lポートフォリオを活用した卒業時DP評価の実施について

資料16-1及び16-2に基づき説明があった。理工学類は、学生・教員ともに入力率が他学類に比べて非常に高いので継続してほしいとのことである。

・令和5年度新入生アンケート結果について

資料17に基づき説明があった。理工学類生における注意点として、電子機器を何ももっていない学生が1名いること、カメラを所持していない学生や、ワード・エクセル・パワーポイントの使い方が分からない学生が一定数いることが懸念されるとのことである。

・教育DXについて

資料18に基づき説明があり、教務協議会でLCに代わるシステム(レスポソ)が紹介された。教授から、DX委員会ではレスポソを出席管理のみで使ってはどうかという内容であったとの発言があった。委員長から、教務協議会ではそのような議論ではなかったとの発言があった。もし何かあれば委員長まで連絡して欲しいことが追加で報告された。

・令和5年度前期成績分布の公開について

資料19に基づき説明があった。公開期間は12月1日～31日で、例年通りの対応である。

3. 就職支援委員会

(1) 就職に関する企業面談への対応について

資料20に基づき説明があった。企業向けのページについて対応を変更したい。これまで一括でメールが届き、それを就職支援委員が該当すると思われる教員に転送してきたが、非常に煩雑かつ専門分野が不明なことが多かった。今回の変更により、専門分野に近い学生に情報が届きやすくなると思われる。准教授から、これまで企業から直接メールがきた際に就職支援委員会に転送したことがあるが、途中で連絡が途絶えてしまうことがあった。今回の変更になるとその点は大丈夫か確認したいとの質問があった。委員長から、希望があればフォローできるようになっているので、就職支援委員会側の方でとめることはないはずとの回答があった。A教授から、資料には専門分野が記載してあるが、この専門分野は細かいし、委員は毎年入れ替わるので、企業側から見たときに継続性がなくなってしまうのではないかとこの質問が出された。委員長から、就職支援委員会で議論したことを踏まえてこのように変更したいとの回答があった。A教授から、一度就職支援委員会を通してから各教員に転送する方がいいのではないかとこの質問が出された。学類長から、これは数年来の懸念事項であったとの発言があった。B教授から、この方式だと企業は一般教員に直接コンタクトをとることになるため、就職支援委員会に情報がきちんといかなくなるのではないかとこの質問が出された。委員長から、現状でも直接特定の教員にしているとの回答があった。B教授から、直接コンタクトが来るのが年間20～30件あると思うが、それがなくなる危惧はないのか、との質問が出された。委員長から、ピンポイントなものとざっくりした内容とのすみわけが必要だろうとの回答があった。C教授から、今後コースが4つになるので就職支援委員を各コースに割り振ればいいのかとの発言があった。学類長から、いろいろなコンタクトがあるので、その都度対応するのがよいとの発言があった。A教授から、個別の問い合わせがあっても理工全体に流した方がいいので、就職支援委員会が把握しておいたほうがいいと思うとの発言があった。

4. 奨学寄附金の受入について

今月は該当するものはないことが報告された。

[その他]

1. その他

(1) 令和6年度TA等経費について

現在募集中であり、変更がない場合でも一度確認してほしい。また、申請時間のカウントを実働時間として申請してほしいとの依頼があった。

(2) 令和6年度大学入学共通テスト実施に伴う学生の入構禁止措置及び学内施設の利用制限等について

研究科委員会で報告済のため省略。

(3) 学術論文・研究に関するウェビナーの開催について

資料21に基づき、学術論文入門が12月13日に開催されるとの報告があった。

(4) 「地域×データ」実践教育推進室会議

現行の地域実践特修プログラムは、来年度から「地域×データ」実践教育プログラムに変更されるが、理工学類から提供している17科目をそのまま継続したいと考えているので確認願いたい。変更等あれば、12月22日までに委員まで連絡してほしい。

(5) 入試広報委員会

理工学類の再編に伴い、理工の紹介パンフレットや大学案内等に記載するための様々な情報が必要となる。今後、個別にお願いするのでよろしく対応いただきたいとの依頼があった。

◆教育研究評議会◆

○第407回(11月28日開催)報告

- (1) 【審議】大学院研究科長の選考方針等について 資料1
- (2) 【審議】 本学における令和6年度学士課程並びに令和6年度及び令和7年度以降の大学院の課程の定員管理について 資料2
- (3) 【審議】 教員評価制度の改善について 資料3
- (4) 【審議】 学内諸規則等の制定について(福島大学国際交流センター規則、福島大学国際交流センター教員の選考に関する規則) 資料4
- (5) 【報告】 リンネ大学(スウェーデン)との学術交流協定締結について 資料5
- (6) 【報告】 伊達市との福島大学農学群食農学類(仮称)との連携協力に関する基本協定書の解除協議について 資料6
- (7) 【報告】 福島県教育委員会と国立大学法人福島大学との「福島ならではの」教育と「学びの変革」を推進する教育人材の育成に関する連携協定書の締結について 資料7
- (8) 【報告】 PI等人件費相当額支出制度の創設について 資料8
- (9) 【報告】 令和5年度収支見込等について 資料9
- (10) 【報告】 2023年度新入生アンケートの集計結果について 資料10
- (11) 【報告】 副学長候補者の選考スケジュールについて 資料11
- (12) 【報告】 令和6年度からの教育研究評議会構成員について 資料12
- (13) その他情報共有等
なし

◆運営会議◆ (研究科委員会にて報告)

○第193回(12月5日開催)報告

- (1) 【報告】 運営会議における令和5年度運営計画(大学院関連計画)進捗確認について(第3回目) 資料1
 - (2) 【報告】 令和5年度運営計画中間報告について 資料2
 - (3) 【報告】 「教育職員にかかるA又はBの昇給区分の職員の数の配分について」の一部改正について 資料3
 - (4) 【報告】 令和4年度福島大学就職率に関する分析結果について 資料4
 - (5) その他情報共有等 資料5
- 以上